

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり2.22人の報告があり、流行開始の目安となる定点当たり1.00人を上回り、流行期に入りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が第46週に4件報告されました。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
第46週 A型:15人、B型:0人

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり9.67人の報告があり、増加しています。長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

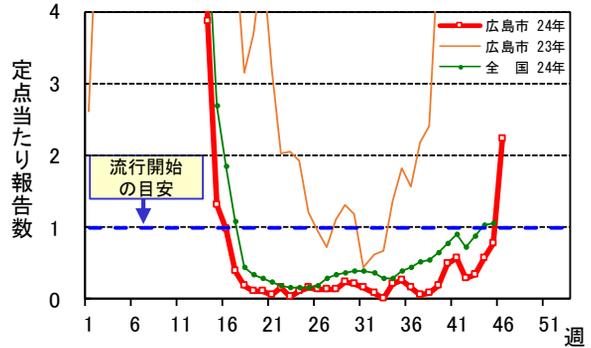
3 感染性胃腸炎

定点当たり4.96人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.97人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均 過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均 過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	80	2.22	4.30	↑	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.30	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	35	0.97		↔		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.26	0.18		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	7	0.30	0.96			流行性角結膜炎	11	1.38	0.43	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.58	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	114	4.96	3.68	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	5	0.22	0.17			マイコプラズマ肺炎	58	9.67	0.09	↔
	手足口病	22	0.96	0.86	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	3	0.13	0.33							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	90	40歳代・推定感染地域: 国外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	27	20歳代・O血清群不明
4	つつが虫病	1	2	60歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	8	70歳代
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	4	10歳代、90歳代
5	梅毒	5	149	20歳代・2人、30歳代・1人、50歳代・2人
5	百日咳	3	32	10歳未満・1人、10歳代・2人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週	インフルエンザ	(C O V I D 1 9 ) 新型コロナウイルス感染症	R S ウイルス	咽頭結膜熱	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
			10	30	1	5	38	75	3	34	-	4	1	1	-	7	-	-	46	-	-	-	-	-
12	36	4	4	48	94	5	27	-	4	1	-	-	3	-	-	37	-	-	-	-	1	-		
21	24	2	6	47	80	4	25	2	3	1	-	-	6	-	-	55	-	-	-	-	-	-		
28	24	4	5	35	65	2	22	-	6	-	2	-	6	1	-	50	-	-	-	-	-	-		
80	35	6	7	42	114	5	22	-	3	4	1	-	11	-	-	58	-	-	-	-	-	-		
定点当たり	広島市	第42週	0.28	0.83	0.04	0.22	1.65	3.26	0.13	1.48	-	0.17	0.04	0.04	-	0.88	-	-	7.67	-	-	-	-	
		第43週	0.33	1.00	0.17	0.17	2.09	4.09	0.22	1.17	-	0.17	0.04	-	-	0.38	-	-	6.17	-	-	0.17	-	
		第44週	0.58	0.67	0.09	0.26	2.04	3.48	0.17	1.09	0.09	0.13	0.04	-	-	0.75	-	-	9.17	-	-	-	-	
		第45週	0.78	0.67	0.17	0.22	1.52	2.83	0.09	0.96	-	0.26	-	0.09	-	0.75	0.17	-	-	8.33	-	-	-	-
		第46週	2.22	0.97	0.26	0.30	1.83	4.96	0.22	0.96	-	0.13	0.17	0.04	-	1.38	-	-	-	9.67	-	-	-	-
全国	第44週	1.04	1.57	0.26	0.25	1.91	2.78	0.16	7.70	0.37	0.25	0.19	0.04	0.01	0.49	0.02	0.04	2.48	0.01	-	-	-	-	
	第45週	1.06	1.47	0.24	0.22	1.68	2.45	0.19	5.74	0.36	0.23	0.12	0.03	0.01	0.45	0.02	0.04	2.43	-	-	-	0.01		

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0℃)	10	2024/10/08	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
流行性角結膜炎	結膜充血 掻痒感	33	2024/09/01	結膜擦過物	アデノウイルス8型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	54	2024/09/09	結膜擦過物	アデノウイルス8型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 掻痒感	24	2024/09/09	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の消化器疾患	急性腭炎	不詳	2024/07/30	咽頭拭い液 糞便	ヒトヘルペスウイルス7型 コクサッキーウイルスA16型
その他の循環器疾患	発熱(39.0℃) 心筋炎 血圧低下 循環不全	13	2024/09/29	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## ■ インフルエンザを予防するための注意点

例年、流行が始まると急激に患者が増加しますので、以下の点に注意し感染予防に努めましょう。

特に基礎疾患(腎臓疾患、心臓疾患、呼吸器疾患等)をお持ちの方や、妊婦、高齢者、乳幼児は合併症を起したり、重症化することもありますので注意が必要です。

- ◆ 外出後は、流水・石けんによる手洗いを行う。
- ◆ 咳やくしゃみ等の症状のある時はマスクの着用など咳エチケットを心がける。

### 【咳エチケットとは】

- 咳やくしゃみをしている人は、マスクを正しく着用する。
- マスクが無い場合は、ティッシュ・ハンカチ、上着の袖などで口や鼻を覆う。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐに蓋付のごみ箱に捨てる。

- ◆ 室内では換気をし、適度な湿度(50~60%)を保つ。
- ◆ 人混みへの不必要な外出は控え、やむを得ず人混みに出る時はマスクを着用する。
- ◆ 流行が拡大する前に、インフルエンザワクチンの接種を受ける。
- ◆ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診する。
- ◆ 普段と異なる症状がある場合には、外出、出勤、登校・登園を控える。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター一丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp